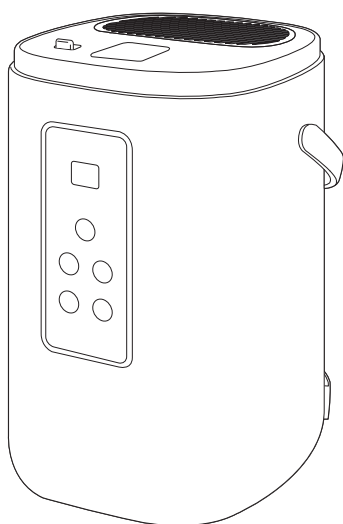


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器 EKS-V3



もくじ

- 安全上のご注意…………… ①～②
- 知っておいていただきたいこと…… ③
- 各部の名称…………… ④～⑤
- 設置…………… ⑤
- 使いかた…………… ⑥～⑨
- お手入れ…………… ⑩～⑪
- 保管…………… ⑪
- 故障かな?と思ったら…………… ⑫
- よくあるご質問…………… ⑫
- 仕様…………… ⑬
- アフターサービスについて…………… ⑭
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社スチーム式加湿器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!

随時情報を更新中!

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

本体の吹出口や通気口に水が入らないようにしてください。感電や故障の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



交流100V
定格範囲内

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



プラグを
抜く

異常時（水もれしたり焦げくさいにおいがするときなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。



ホコリを
とる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



根元まで
差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

断線やショートして感電・故障・発火の原因になります。



移動時は電源プラグをコンセントから抜き、必ず水を捨てる

床を濡らしたり、けがの原因になります。
本体か下部の取っ手をしっかりと持ち、滑らないようにしてください。



プラグを
抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

警告

電源プラグ・コードは正しく扱う(つづき)



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電や、けがをすることがあります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



禁止

マグネットプラグにピンやごみを付着させない

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



禁止

マグネットプラグをなめさせない
乳幼児が誤ってなめないようにしてください。
感電・けがの原因になります。



包装用ポリ袋は、お子様の手の届かないところに保管する

誤って被ったとき窒息し、死亡の原因になります。



禁止

吹出口やすき間にピンや針金など金属物や異物を入れない

感電や異常動作してけがの原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転しない

蒸気によってやけどの原因になります。
また、ふたがしっかり閉まっていないと転倒したとき、ふたが開き熱湯が流れ出すため危険です。



禁止

毛足の長いじゅうたんや畳の上など不安定な場所に置かない

振動や引っ掛けて転倒すると水がこぼれ、ショートや感電の原因になります。



禁止

倒れて他の電気製品などに水がかかるような場所に置かない

こぼれた水で、ショート・感電・故障の原因になります。



禁止

使用中や使用直後は吹出口や高温部に触ったり、顔などを近づけない
やけどの原因になります。



禁止

吹出口や通気口をふさがない
ふさぐと故障の原因になります。

注意



こまめなお手入れ

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、本体内部を定期的にお手入れする

水タンクに水あかが付着して、加湿量が低下したり故障の原因になります。週に1～2回は必ず清掃を行ってください。



禁止

水タンクに化学薬品、汚れた水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターなどを入れない

水道水以外は使用しないでください。
故障や雑菌の繁殖の原因になります。



禁止

使用中や使用直後は、動かさない
熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。



禁止

お部屋の加湿以外の用途で使わない

居住空間の加湿以外の用途で使うと感電・故障の原因になることがあります。



禁止

直射日光が当たる所や暖房器具の上や近くに置かない

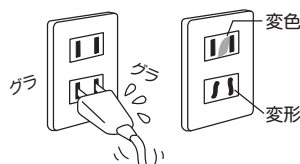
プラスチック部分が変形・変質することがあります。

知っておいていただきたいこと

【安全・快適にお使いいただくために】

- お手入れは、こまめに行ってください。(10～11ページ参照)
特に水タンクなど内部に水あかが付着すると故障や異音・異臭の原因になります。
- やけどのおそれがあります。次のことに、ご注意ください。
 - ・蒸気の吹出口に触ったり、手や顔を近づけない。
 - ・給水は、本体が冷めてから行う。
 - ・子供や乳幼児の手の届く場所で使用しない。
 - ・使用中や使用直後は、ふたを開けない。
 - ・不安定な場所で使用しない。
 - ・ふたを開けたまま運転しない。
- 水タンクに水を入れずに空だきしないでください。火災・故障の原因になります。
- 水タンクに水道水以外のものを入れて運転しないでください。
市販の除菌剤やアロマオイルなども故障の原因になることがあります。
- 本体下部や床（設置場所）を時々清掃してください。こぼれた水を放置すると、床を傷めるおそれがあります。
- 毎日水を入れ換えてください。また、長期間使用しないときは、必ず水を捨ててください。
水あかが付着したり、水が腐敗して悪臭の原因になります。
- 凍結する場所に電源を切って放置する場合は、必ず水タンクの水を捨ててください。
- 水タンクはステンレス製の為、使用するにつれて変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- コンセントの差し込みがゆるくなっていないか(コンセントの老朽化)、タコ足配線をしていないか、また電源プラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。
ゆるくなったコンセントは使用しないでください。
電源プラグの刃が変形している場合やコードに傷がある場合などは、使用を中止し、修理をご依頼ください。

【コンセントの点検】



次のようなコンセントは、早めに交換をしてください。

- 電源プラグが軽く差し込めたり、すぐに抜けてくる。
 - 変色していたり、変形している。
- ※良好なコンセントは電源プラグを差し込むとき、多少力が必要で差し込んだ後もぐらぐらしません。

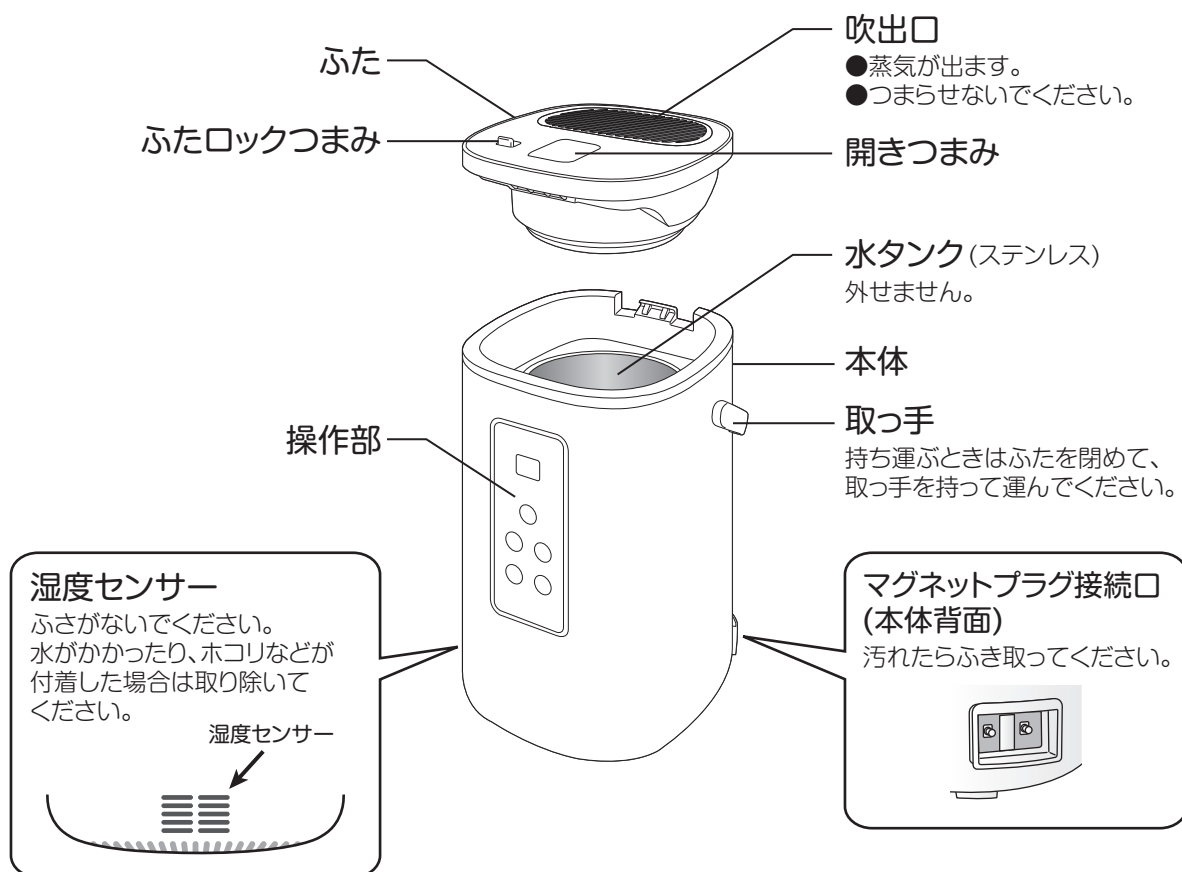
- この商品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

【加湿開始までの時間について】

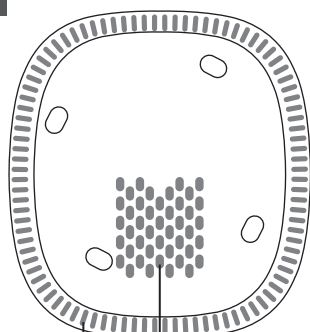
当機器は水タンク内の水が沸騰することで加湿する構造のため、満水時においては運転開始から加湿開始までに30分程度の時間がかかります。沸騰するまでの時間を早めるために水温がある程度高くなるまでは加速ヒーターで加熱します。
このときの消費電力は700Wですが、沸騰近くになると設定した加湿量に応じた電力に切り換わり沸騰を持続します。
定常加湿状態での消費電力は以下になります。

- ・MAX → 500W
- ・強 → 400W
- ・中 → 300W
- ・弱 → 200W

各部の名称



底面

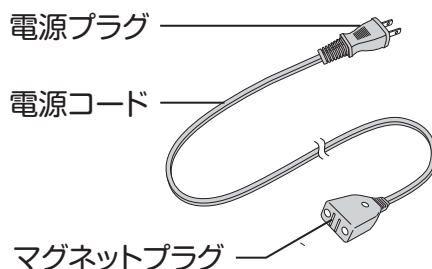


ふさがないでください。

付属品

電源コード

付属の専用電源コード以外は、使用しないでください。



各部の名称

操作部

温水ランプ

点灯時は水タンクの水が無くなり、
運転が停止しています。

クリーンランプ

表示部

切タイマーランプ

%ランプ

加湿量ランプ

弱 中 強 MAX AUTO

オート(AUTO)ランプ

加湿量切替ボタン

湿度を設定して自動的に運転します。



電源ボタン



切タイマーボタン

オート(AUTO)ボタン

設定湿度 (50%・60%・70%) に
なるように運転します。
長押しするとチャイルドロックに
なります。



(長押し ロック)



(長押し 現在湿度)

クリーン(CLEAN)ボタン

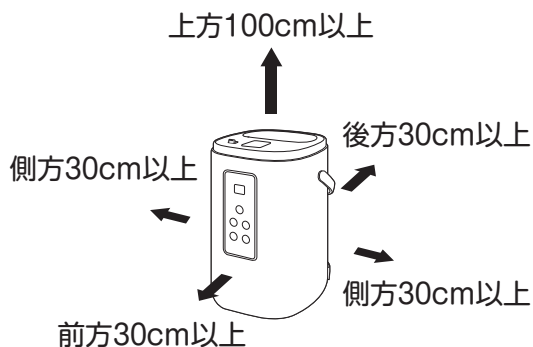
チャイルドロックランプ



設置

- 図の範囲内には物を置かないでください。
- 吹出口や通気口をふさがないでください。
- 次のような場所に設置しないでください。

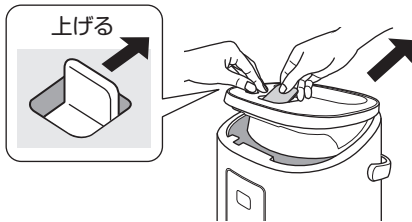
- ・傾いたり不安定な場所
- ・子供や乳幼児の手の届く場所
- ・電気製品や精密機器などの近く
- ・直射日光の当たる場所
- ・テーブルクロスなど熱に弱いものの上
- ・高いところ
- ・暖房器具など他の熱源の近く
- ・吹出口から出る蒸気が直接、家具や壁などに当たる場所



使いかた

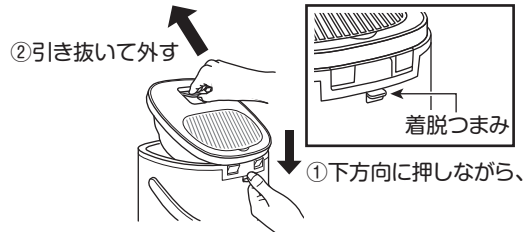
ふたの開けかた

ふたロックつまみを上げながら、開きつまみを持ち上げて、上ふたを開ける。



ふたの外しかた

ふたを約45度持ち上げて、着脱つまみを下方向に押しながら、ふたを斜め上に引き抜く。



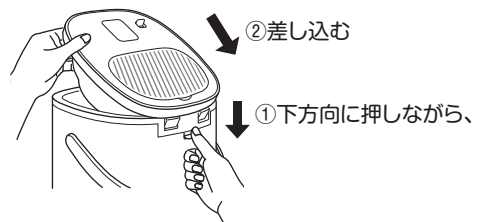
ふたの閉めかた

カチッと音がするまで、ふたをしっかりと押し込む。



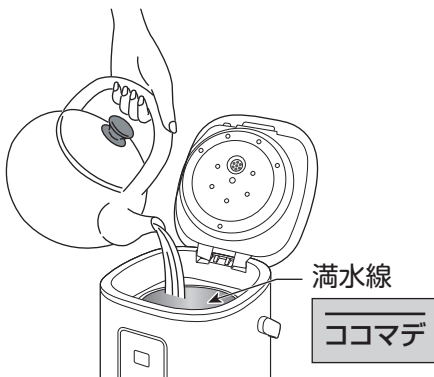
ふたの取り付けかた

着脱つまみを下方向に押しながら、ふたを斜め上から元通り差し込み、着脱つまみから指を離す。



水を入れる

別の容器から水を入れてください。
※満水線を超えないでください。



次のような水は使わないでください。

- ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水、カビや雑菌が繁殖しやすくなり、故障の原因になります。
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイル、汚れた水
変形や故障の原因になります。

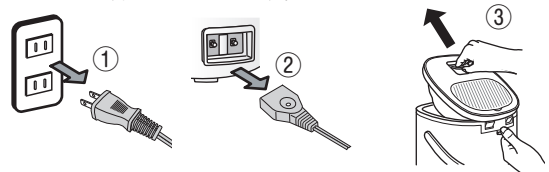


注意

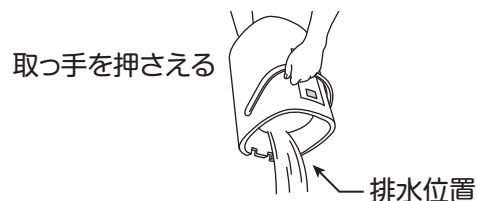
残り湯を捨てる

使わないときは次の手順で残ったお湯を捨てます。

①プラグを抜き、上ふたを外します。



②本体と取っ手をしっかりと持って、排水位置から残り湯を捨ててください。

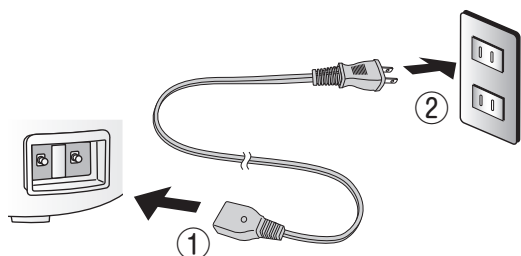


注意

- 捨てるお湯や蒸気に注意してください。
- 必ずふたを外してからお湯を捨ててください。ふたが外れてやけどのおそれがあります。
- 1日1回は残り湯を捨ててください。内容物のさびや、お湯がにおう原因になります。
- 濡れた手でマグネットプラグや電源プラグを持たないでください。

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む



- ① 本体にマグネットプラグを接続します。
- ② 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込みます。
※ブザーが鳴り、操作部が約1秒点灯します。

2 加湿運転をする



MAX
MAXランプ点灯

- オートボタンを押して自動運転にすることもできます。(8ページ参照)
- 水を加熱し始めて、沸騰近くになると加湿を開始します。
※室温や水温にもよりますが、蒸気が出るまで数分間かかることがあります。

3 加湿量をかえる



- 加湿量切換ボタンを押すたびに加湿量が4段階にかわります。
- どの加湿量に設定しても最初は必ず沸騰します。

MAX	沸騰後、500Wで運転を継続します。
弱	沸騰後、200Wで運転を継続します。
中	沸騰後、300Wで運転を継続します。
強	沸騰後、400Wで運転を継続します。



警告

やけどのおそれがあります。

- 蒸気の吹出口に触ったり、手や顔を近づけたりしない。
- 給水は本体が冷めてから行う。
- 使用中や使用直後は、ふたを開けない。
- ふたを開けたまま運転しない。

使いかた

4 自動運転にする

【自動運転時の動作】 自動運転時には次の動作を繰り返します。
設定した湿度を保つように、加湿運転の強弱を自動的に切り換えます。

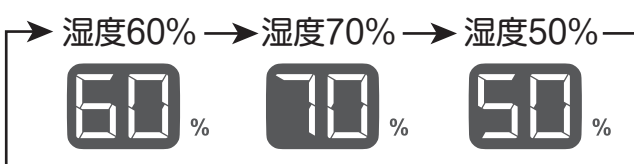
AUTO



AUTO

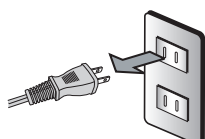
オートランプ点灯

- オートボタンを押すと湿度60%で自動運転し、オートボタンを押すたびに3段階に設定ができます。
- 加湿量切換ボタンを押すと、自動運転が解除されて通常の加湿運転に切り換わります。(7ページ参照)



自動運転機能をお使いになる前に9ページ「湿度検知の準備」を行ってください。また、機器の設置条件などにより、設定した湿度は室内の湿度と異なることがあります。目安としてご使用ください。

5 運転を終了する



電源ボタンを押して電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜いてください。

使いかた ー各機能ー

メモリー機能

電源を切って運転再開すると停止前の設定で運転が始まります。
電源プラグを抜いた場合もメモリーされます。

※タイマーの設定時間は、メモリーされません。

減光機能

運転時に何らかの操作を行ってから約30秒経過すると、
表示ランプの明るさを抑えます。

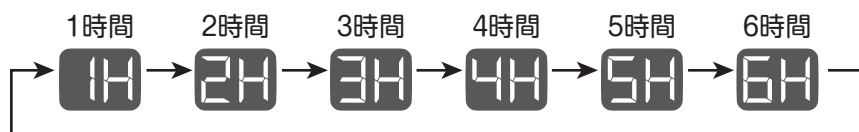
使いかた ー各機能ー

切タイマー

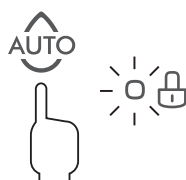
設定時間：1～6時間



- ①切タイマーボタンを押してください。表示部の設定時間と切タイマーランプが点滅します。
点滅中にボタンを押すたびに設定時間が切り換わります。
- ②点滅が点灯に変わると設定完了です。(表示部が加湿設定の表示になります。)
- ③設定時間が経過すると運転が停止します。



チャイルドロック



オートボタンを長押ししてください。チャイルドロックランプが点灯してロックします。
解除するときは、再びオートボタンを長押ししてください。

- 停止状態でロック：運転開始できなくなります。
- 運転状態でロック：運転設定を変更できなくなり、電源を切る以外の操作ができなくなります。
再び運転するときは、ロックを解除してから電源ボタンを押して設定しなおしてください。

水がなくなったときは



- 水がなくなると、湯水ランプが点灯して運転を停止します。
- 再度運転を行う場合は、電源を切って本体が冷めてから水タンクに水を入れて、再度設定してください。

現在湿度を表示する

以下の操作によって一時的に機器周囲の湿度を表示することができます。

【湿度検知の準備】

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、クリーンボタンを3秒以上長押しします。
 - ②表示部に「FE」が3回点滅して消灯します(センサーに対して誤差を補正するための検測を完了しました)。
- ※機器に運転時の熱が残っていると正しく検測できません。機器が十分に冷めた状態(周囲の気温と同じ温度)で行ってください。

【現在湿度の表示方法】

運転中にクリーンボタンを3秒以上長押ししてください。
表示部に現在湿度を5秒間表示します。

お手入れ



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

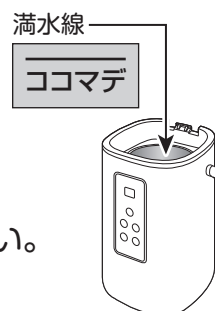


注意

- お手入れにはベンジン、シンナー、磨き粉、金たわしなどを使わないでください。
- 排水時に、通気口や操作部、マグネット接続口に水がかからないようご注意ください。また付着した水は、必ずふき取ってください。

1 水タンクのお手入れをする

- お手入れをしないと水あかが固着して故障の原因になります。ご使用のたびに、水タンクの内側(特に底部分)を軽くふいていただくことをおすすめします。
- ふいても水あか(白い付着物)が取れないときは、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで洗ってからすすいでください。



【クリーンボタンを使用してお手入れする】



「cL」表示

次の方法でお手入れを行うと、においを低減することができます。
※においによっては完全に落ちないものもあります。

- ①水タンクに水を満水線まで入れ、その中にクエン酸を50g程度入れてかき混ぜます。その後、ふたを閉めてください。
- ②クリーンボタンを押してください。クリーンランプが点滅・表示部に「cL」を表示し、水タンクの洗浄が始まります。
- ③洗浄が終わると、クリーンランプが点灯・表示部が消灯し、ブザーが5回鳴ります。お湯を捨ててスポンジなどでこすり洗いしてから、水で十分すすいでください。

※途中で洗浄を停止させたいときは、電源プラグを抜いてください。
(電源ボタンを押しても洗浄は停止しません。)

※洗浄中は消費電力は200Wになります。

※水温:20℃、水量:3Lの場合…洗浄時間:約120分

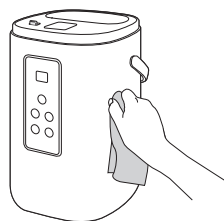
お願い

- 洗浄後もにおいが気になる場合は、もう一度洗浄を行ってください。においによっては完全に落ちないものもあります。
- 空だきはしないでください。
- クリーニングを行うときは、水は満水線より多く入れないでください。クリーニングがうまくできない原因になります。
- 洗浄後、内部が熱いうちにふたを開けると熱い蒸気が多量に出ることがありますので、やけどにご注意ください。

お手入れ

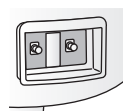
2 本体のお手入れをする

乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。



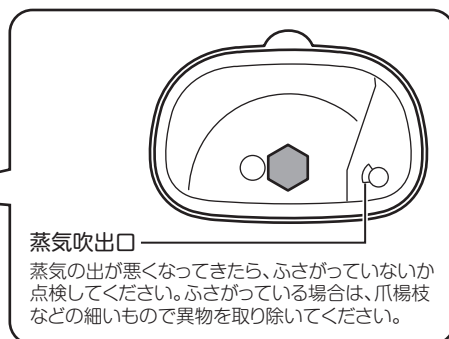
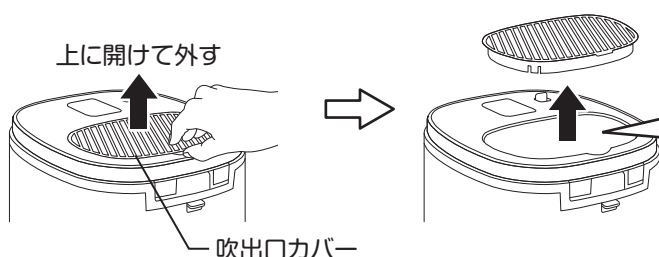
3 マグネットプラグ接続口のお手入れをする

乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。マグネットプラグも同様に、お手入れしてください。汚れたまま使用すると発熱などのおそれがあります。



4 吹出口カバーやカバー内側のお手入れをする

- 吹出口カバーを取り外し、吹出口カバーや内側を乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。
- お手入れ後は元通り取り付けてください。



保管

- お手入れの後、本体や水タンクの水をふき取り直射日光の当たらないところで十分乾燥させてください。
 - 箱に入れるか、ポリ袋を被せ、湿気の少ない直射日光の当たらないところに保管してください。
- ※緩衝材をなくしてしまった場合や箱に入れないで収納するときは、製品を立ててポリ袋などを被せ、収納してください。



警告

電源コードをきつきたばねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。コードが破損し、火災や故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	ご確認ください
運転しない	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 →しっかりと差し込んでください。●マグネットプラグが外れていませんか。 →マグネットプラグをいったん外して、再度接続しなおしてみてください。
加湿しない	<ul style="list-style-type: none">●水がなくなっていないですか。(湯水ランプが点灯します) →給水してください。●吹出口が目詰まりしていませんか。 →お手入れしてください。(11ページ参照)●運転開始しても数分間は蒸気が出ないことがあります。
においがする	<ul style="list-style-type: none">●水が古くなっていませんか。 →新しい水に入れ換えてください。●使い始めは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。●水タンク内部は汚れていませんか。 →スポンジ等を使い水あかなどの汚れを落とし、しっかりすすいでください。
湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none">●お部屋の面積が適用床面積より広くはないですか。
水がなくなっても運転停止しない	<ul style="list-style-type: none">●水タンクの底に水あかが溜まっていませんか。 →水タンクのお手入れをしてください。(10ページ参照)
湿度表示が正確ではない	<ul style="list-style-type: none">●「湿度検知の準備」を再度行ってください。(9ページ参照) また、設置状態によっても誤差がありますので、目安としてください。

よくあるご質問

ご 質 問	回 答
電気代はどのくらい かりますか?	「MAX」運転(最大加湿の場合)：1時間あたり約21.7円 ※電気料金目安単価31円/kWhを基に計算しています。
何時間連続で 使用できますか?	「MAX」運転時(最も水を消費する場合)：約5時間 「弱」運転時：約15時間
何畳の部屋まで 加湿できますか?	MAX運転の場合、 木造和室：10畳まで プレハブ洋室：17畳まで
一日中連続で 使用できますか?	連続で使用いただいてもかまいませんが、安全上給水時には いったん運転を停止し、本体が冷めてから給水してください。

仕様

電 源 電 圧	交流100V 50/60Hz			
定格消費電力	700W (加速ヒーター時:沸騰するまで)			
本 体 寸 法	幅242×奥行258×高さ355mm			
質 量	約3.1kg			
電源コード長	約1.2m			
運 転 モ ード	MAX	強	中	弱
加 湿 量	600ml/h	500ml/h	350ml/h	200ml/h
消 費 電 力	500W	400W	300W	200W
連続加湿時間	約5時間	約6時間	約9時間	約15時間
適用床面積 (パワフル運転時)	木 造 和 室:~約10畳 プレハブ洋室:~約17畳			
安 全 装 置	サーモスタット、温度ヒューズ			
水タンク容量	約3.0L			

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの最大値で表しています。

※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認ください。それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでの相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでの相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。